

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									2.7
Q1 室内環境						0.31		-	3.6
1 音環境					3.0	0.15	-	-	3.0
1.1 室内騒音レベル					3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0			0.60	-	-		
2 界壁遮音性能		3.0			0.40	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-			-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-			-	-	-		
1.3 吸音					3.0	0.20	-	-	
2 温熱環境					3.2	0.35	-	-	3.2
2.1 室温制御			外壁熱貫流率0.46w/m2K、窓熱貫流率2.83w/m2K、日射熱取得率0.41		3.5	0.50	-	-	
1 室温		3.0			0.38	-	-		
2 外皮性能		5.0			0.25	-	-		
3 ゾーン別制御性		3.0			0.38	-	-		
2.2 湿度制御					3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境					3.8	0.25	-	-	3.8
3.1 昼光利用			昼光率＝6.04		4.2	0.30	-	-	
1 昼光率		5.0			0.60	-	-		
2 方位別開口		-			-	-	-		
3 昼光利用設備					3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-	
1 昼光制御				3.0	1.00	-	-		
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御			人検知センサーにより自動照明制御を行っている		5.0	0.25	-	-	
4 空気質環境					4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策			内装仕上材、天井裏の処理は全てF☆☆☆☆以上としている		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		5.0			1.00	-	-		
4.2 換気					3.0	0.30	-	-	
1 換気量				1.0	0.33	-	-		
2 自然換気性能				3.0	0.33	-	-		
3 取り入れ外気への配慮			汚染のない屋上に設けられ、排気口と6m以上離れている		5.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理					4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.3
1 機能性					2.6	0.40	-	-	2.6
1.1 機能性・使いやすさ			事務室天井高:3.0m 休憩所:29%		2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		1.0			0.33	-	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0			0.33	-	-		
3 バリアフリー計画		3.0			0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性					3.3	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		5.0			0.33	-	-		
2 リフレッシュスペース		4.0	0.33	-	-				
3 内装計画					1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理					2.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振			免震ピットを設置している		3.4	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0			0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		5.0			0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数					3.4	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		一部にガルバリウム鋼板とSUSダクトを使用している		5.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		上水:SUS、PE、汚水・雑排水:VP、耐火二層管		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性					3.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		災害時において重要性の高いシステムを優先して運転する、耐震施工を行っている、バックアップを行っている		4.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		配管のシステムを区分している、汚水の一時的な貯留が可能なピットを設けている、節水便器を採用している		4.0	0.20	-	-		
3 電気設備				3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		耐震レベルをAとしている		4.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		通信手段の多様化を図っている、精密機械の地下空間への設置を避けている、災害時に災害情報が入手できる		4.0	0.20	-	-		
3 対応性・更新性					4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 空間のゆとり					5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		平均階高＝5.0m		5.0	0.60	-	-		

	2 空間の形状・自由さ		壁長さ比＝0.097	5.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性			4.2	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	ISSIにより構造部材・仕上材を痛めずに更新ができる	5.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性	ISSIにより構造部材・仕上材を痛めずに更新ができる	5.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性	配管配線方式のため、仕上材を痛めず更新が行える	5.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	配管配線方式のため、仕上材を痛めず更新が行える	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境（敷地内）				—	0.39	-	-	1.7
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制				2.6	0.20	-	-	2.6
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEIm]： —	5.0	0.50	-	-	5.0
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング				3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制				3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1 モニタリング				-	-	-	-	
4.2 運用管理体制				-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水			節水便器、自動水栓を採用している	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.60	-	-	3.0
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.22	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			—	1.0	0.22	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			躯体+軽鉄+仕上材のため分別が容易である、内装材と設備が錯綜していない	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	
1 消火剤				-	-	-	-	
2 発泡剤（断熱材等）				3.0	0.50	-	-	
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮			LCCO2排出率47%	5.0	0.33	-	-	5.0
2 地域環境への配慮				2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			自転車置場、駐車スペースの確保、構内道路の整備を行っている	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1 騒音				3.0	0.50	-	-	
2 振動				3.0	0.50	-	-	
3 悪臭				-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光（グレア）への対策				3.0	0.30	-	-	